

決算説明・中期経営計画 説明会

『精密分野でのカテゴリーNo.1の実現』
(2016年度-2018年度)

2016年5月26日

リズム時計工業株式会社
(証券コード 東証一部 7769)

1. プロフィール

2. 業績動向

3. 中期経営計画

「精密分野でのカテゴリーNo.1の実現」

3-1. 全体概要

3-2. 事業別中期経営計画の概要

3-3. 海外事業戦略

3-4. 人材戦略、社会貢献

3-5. コーポレートガバナンス

4. 2015年度(2016年3月期)決算概要

5. 2016年度(2017年3月期)業績予想

注：本資料中、特段注記がある場合を除き、売上高、営業利益とも億円、年は事業年度(4月-翌3月)で表しています。

社 名	リズム時計工業株式会社(東証一部:7769)
設 立	1950年11月7日
資 本 金	123億円(2015年度末現在)
主要販売品目	各種クロック(置時計・掛時計・設備時計など)、ウォッチ、温湿度計、ファン 情報機器、車載機器・電子部品 精密金型・成形部品 接続端子部品 その他精密機械各種
業 績	売上高 333億38百万円, 営業利益 553百万円(2015年度)
当 社 拠 点	生産拠点 2, 販売拠点 6
関 係 会 社	<国内>4社-生産拠点;4、販売会社;1、物流拠点;1 <海外>9社-生産拠点;6、販売会社;3、駐在員事務所;2
従 業 員 数	連結3,289名, 個別296名 (2015年度末現在)

1946年 当社の前身である株式会社農村時計製作所設立

1950年 会社設立(東京都港区)

1951年 国産初のプラスチック枠時計発売

1953年 シチズン時計株式会社、シチズン商事株式会社と技術・販売・資本提携

1963年 東京証券取引所第二部へ上場

自動車用時計製造・販売開始-電子事業スタート

1965年 自動車用時計製造開始-電子事業スタート

シチズンクロック製造・販売開始

1969年 シチズン時計株式会社と商標の相互使用に関する基本契約を締結

国産初高振動トランジスタムーブメント(ファーストメカ)開発

1972年 東京証券取引所第一部市場へ指定

クロック生産量世界1位となる クォーツ(水晶)時計発売

リズム工機株式会社設立-プレジジョン事業スタート

1977年 リズム工機(現:東北リズム株式会社)設立-プレジジョン事業スタート

1992年 香港にRHYTHM INDUSTRIAL(H. K.)LTD.設立(中国生産開始)

2005年 ベトナムにRHYTHM PRECISION VIETNAM CO., LTD.を設立

協伸工業株式会社買収-接続端子事業スタート

2011年 協伸工業株式会社(現:リズム協伸株式会社)

KYOSHIN VIETNAM.CO.,LTD. KYOSHIN INDUSTRIAL ASIA.PTE.LTD 買収

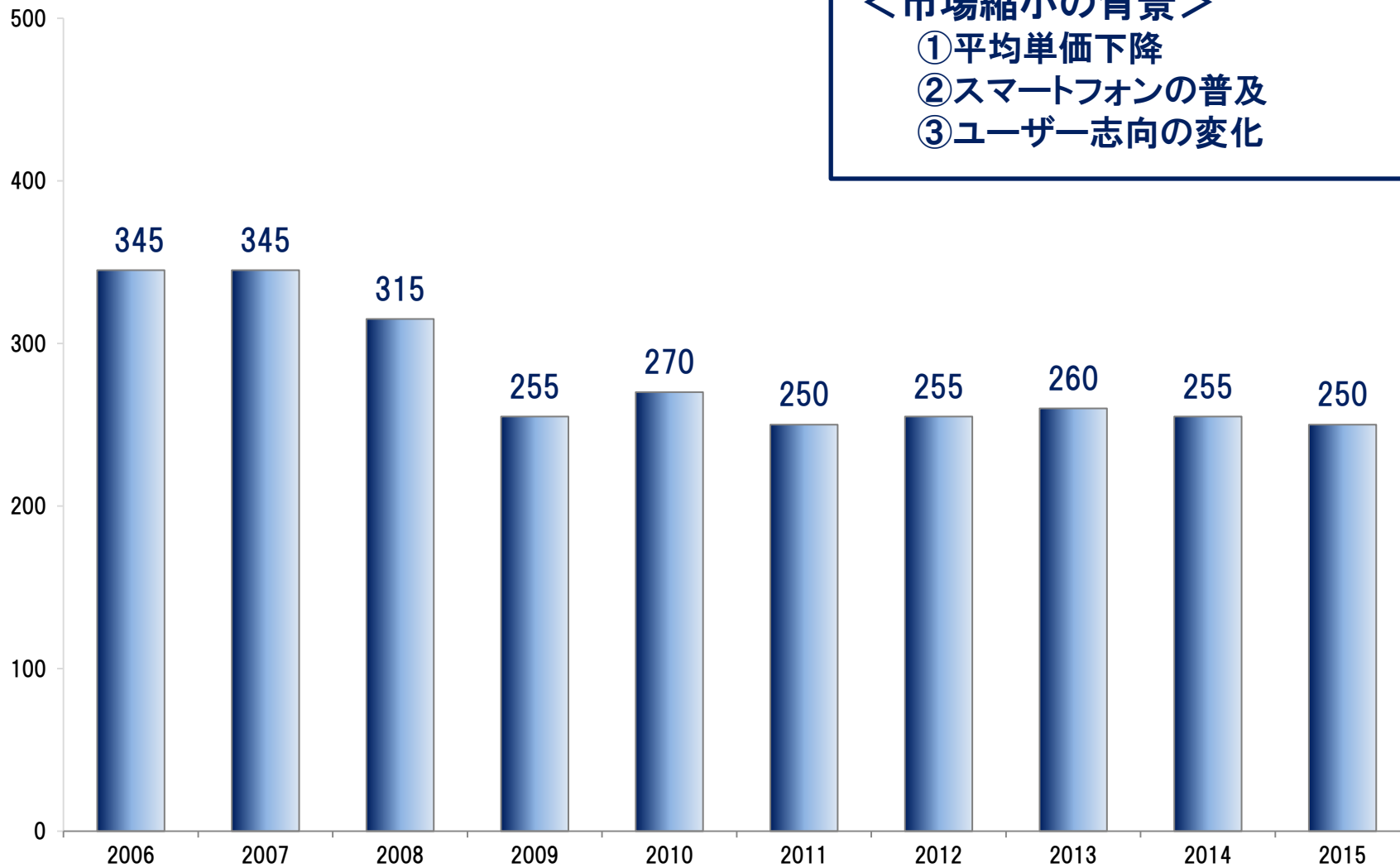
2013年 PT Umeda Kogyo Indonesia(現:PT. RHYTHM KYOSHIN INDONESIA)買収

「RHYTHMブランド」、国内で復活、ブランド強化へ

2014年 国内でリズム時計「RHYTHM」ブランド、45年ぶりに復活

クロック市場規模推移(メーカー出荷ベース)

(億円)



(注: 暦年)

<市場縮小の背景>

- ① 平均単価下降
- ② スマートフォンの普及
- ③ ユーザー志向の変化

矢野総研「2014年時計白書」+時計協会資料より当社推定

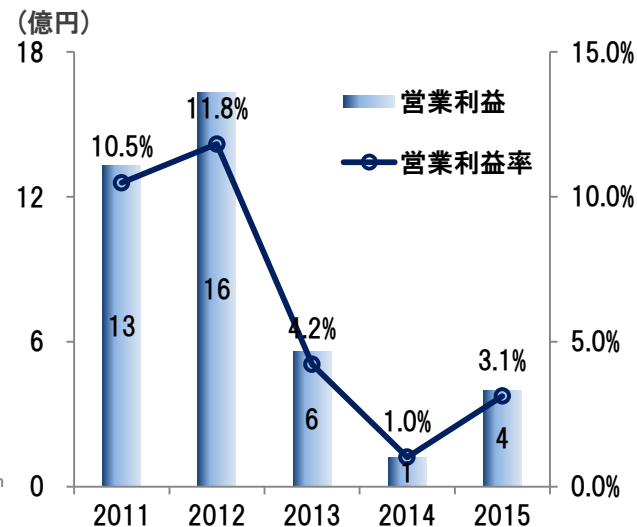
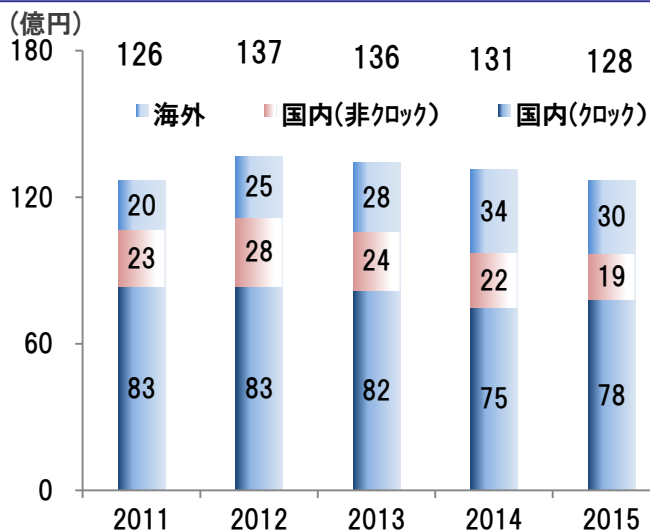
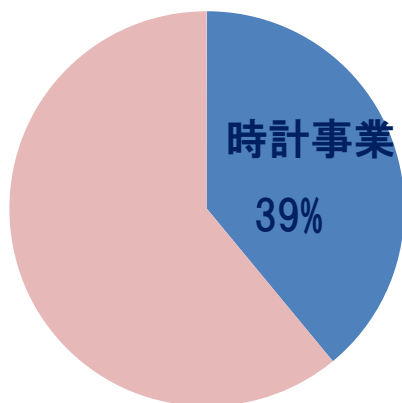
産業向け3事業

事業		時計事業	電子事業	プレジジョン事業	接続端子事業	その他事業
管理部門		時計事業部	電子事業部	東北リズム (100%子会社)	リズム協伸 (100%子会社)	組織
販売	国内	6	1	1	2	拠点数
	海外	2	—	—	3	
生産	国内	1	1	1	3	
	海外	2	2	2	4	

事業の紹介① 時計事業

RHYTHM

全体に占める時計事業ウエイト



クロック



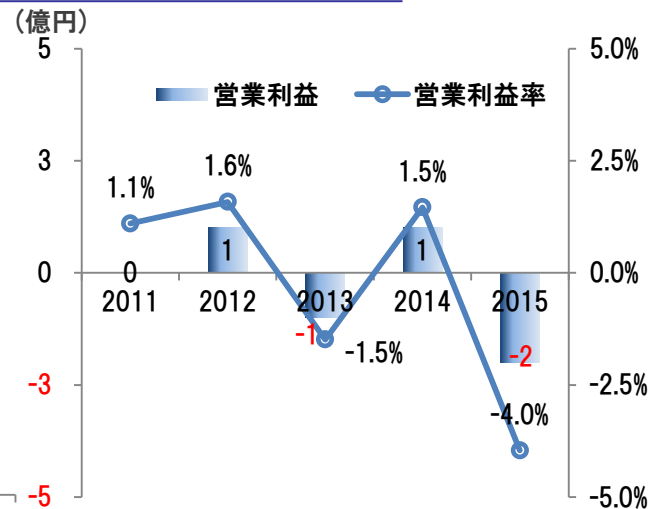
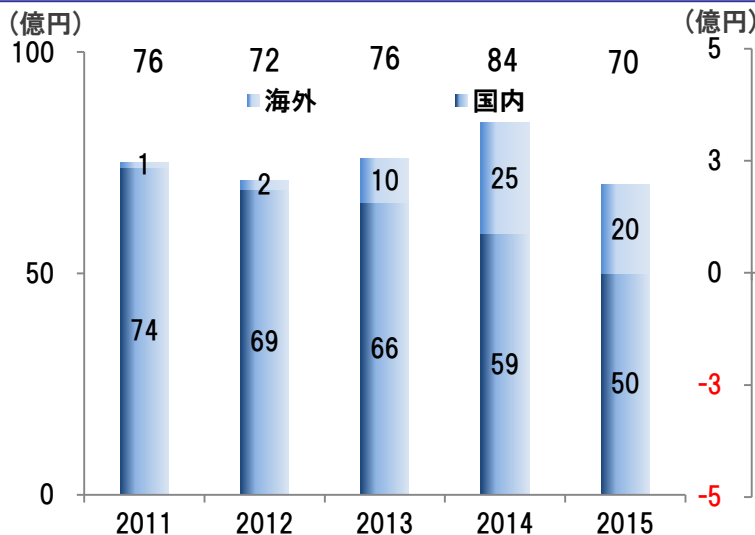
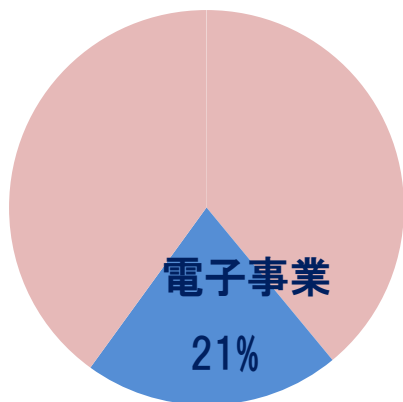
事業の概要

- ・クロック製品を中心とした企画・生産・販売・アフターサービスまで一貫体制で事業展開。
- ・国内では、シェアトップクラス。クロック業界では唯一国内工場所有。海外では94カ国で販売。
- ・クロックで培った技術や販路を活かし、温湿度計、小型ファン、防災行政ラジオなども展開しクロックからインテリア・防災商品へ拡大している。
- ・2014年は、45年ぶりに「RHYTHM」ブランドを復活させ、ブランドイメージの拡大、浸透に取り組んでいる。
- ・海外生産比率91%。中国、ベトナム(2015年生産開始)

事業の紹介 ②電子事業

RHYTHM

全体に占める電子事業ウエイト



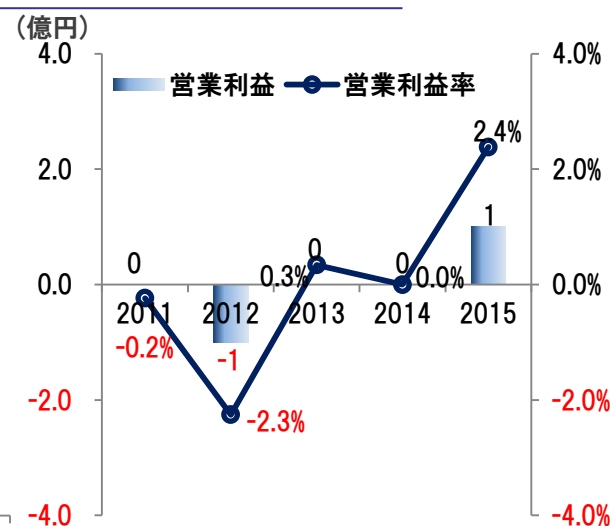
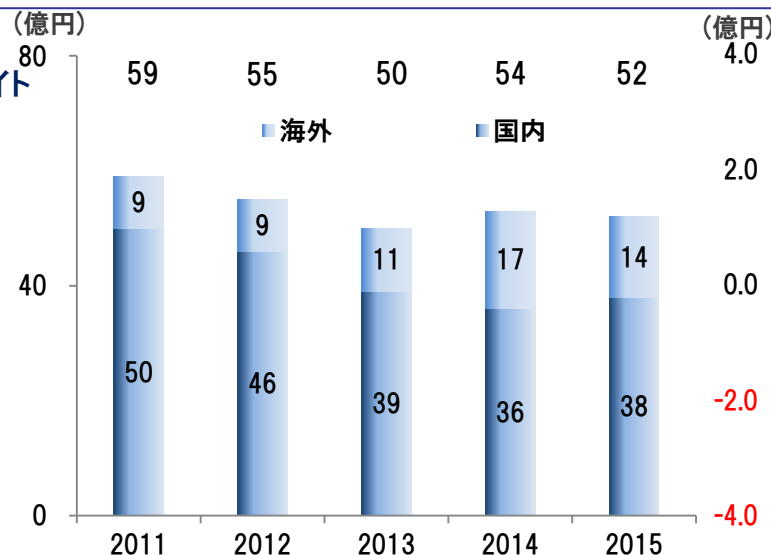
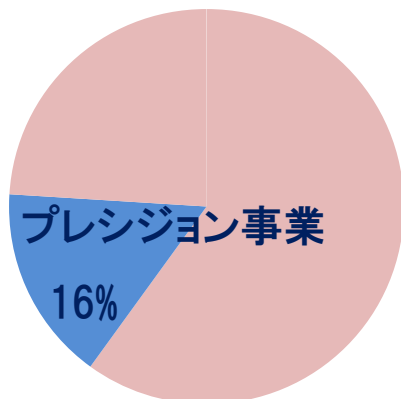
事業の概要

- ・1965年より自動車時計の製造を開始し、自動車時計のほか、自動車の運転席まわりのメーター板等各種機器、加飾リング等を製造。
- ・1990年以降大手電機メーカーと組み自動車用の後方監視カメラを開発。現在では、建設機械の周囲監視カメラや検眼機や半導体製造装置の検査カメラ等産業用機器にまで拡大。
- ・これらの技術を基に2015年より、プレジャーボートのゲージ(パネル)の製造開始。
- ・1993年より、パチンコ台上部にある呼び出しランプの製造開始。その後、開発機種を広げ、ホールシステムの機器も製造。
- ・海外販売は、ベトナム・中国で機器組立・部品を中心に展開。

事業の紹介 ③プレジジョン事業

RHYTHM

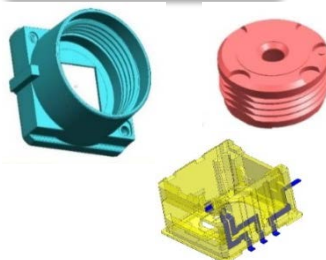
全体に占めるプレジジョン事業ウエイト



車載カメラの
レンズホルダー



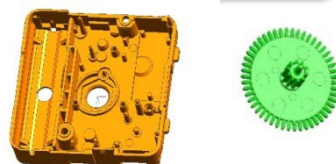
携帯電話の
レンズホルダー



カメラの
レンズホルダー



クロックの
ムーブメント



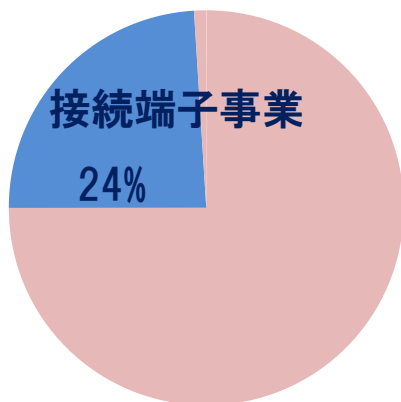
事業の概要

- ・クロック関連の金型の設計製造、ムーブメントの組立を基にスタート。
- ・製造過程における省力化機器のノウハウを集約。
- ・携帯電話のカメラモジュール部品の製造受託で外部との取引開始。その後、光学機器メーカーにカメラの鏡筒部品を供給し、外部との取引拡大。
- ・デジタルカメラ市場の拡大と急激な縮小にあわせ業容も大きく変化。
- ・高難度の精密小型部品の金型設計・製造及び部品加工技術を活かし、光学機器メーカーはもとより事務機器メーカーや自動車機器メーカーとも取引を拡大。

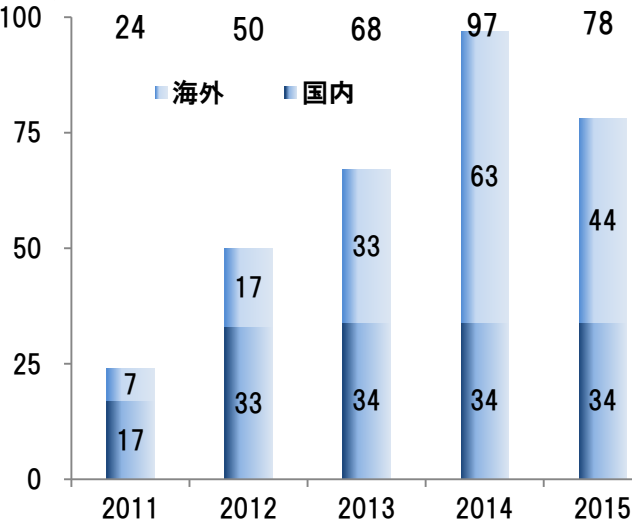
事業の紹介 ④接続端子事業

RHYTHM

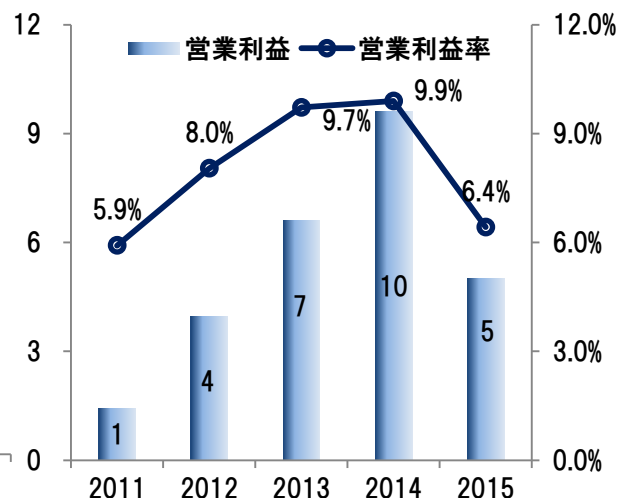
全体に占める接続端子事業ウエイト



(億円)



(億円)



事業の概要

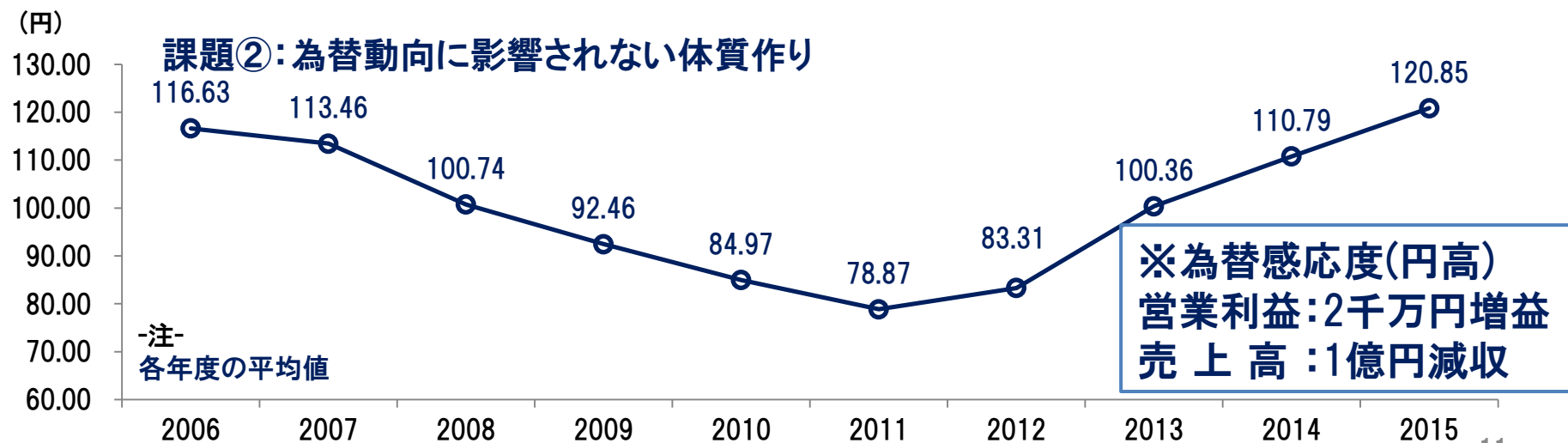
- ・2011年協伸工業(現:リズム協伸)及び海外子会社2社を、また、2013年には、PT Umeda Kogyo Indonesia(現:PT RHYTHM KYOSHIN INDONESIA-RKI)を買収。端子業界では、大きな存在感を示す。
- ・家電業界のほか、自動車の電装部品にも強い(HVやEV市場の拡大は追い風)。
- ・RKIは、成長著しいインドネシアにおいて、電気機器メーカーや二輪向け金属プレス部品を中心に生産を行ってきたが、自動車機器メーカーとの取引を想定し、インサート成型機を導入。
- ・東京、大阪、シンガポール、タイ(バンコク)、香港の営業拠点から、全世界へセールス活動を展開。
- ・米国とドイツのメーカーと代理店契約を行い、欧米市場開拓を進めている。
- ・2014年度は、RHYTHM KYOSHIN INDONESIAが決算期変更のため15か月決算。

(注)接続端子事業の営業利益・利益率は、のれん償却後で表しています。

中期業績推移①

RHYTHM

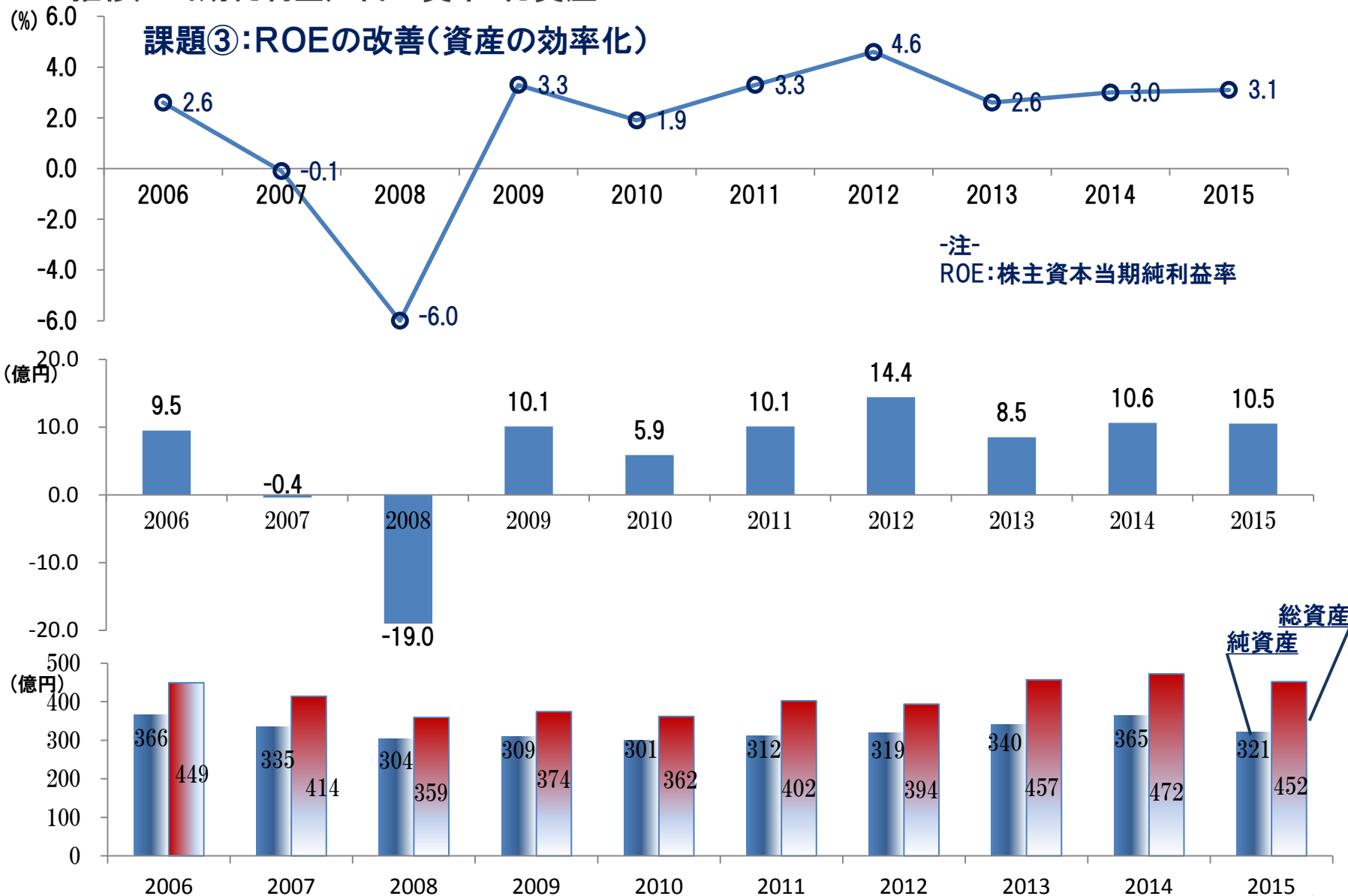
営業利益、利益率/為替レート推移



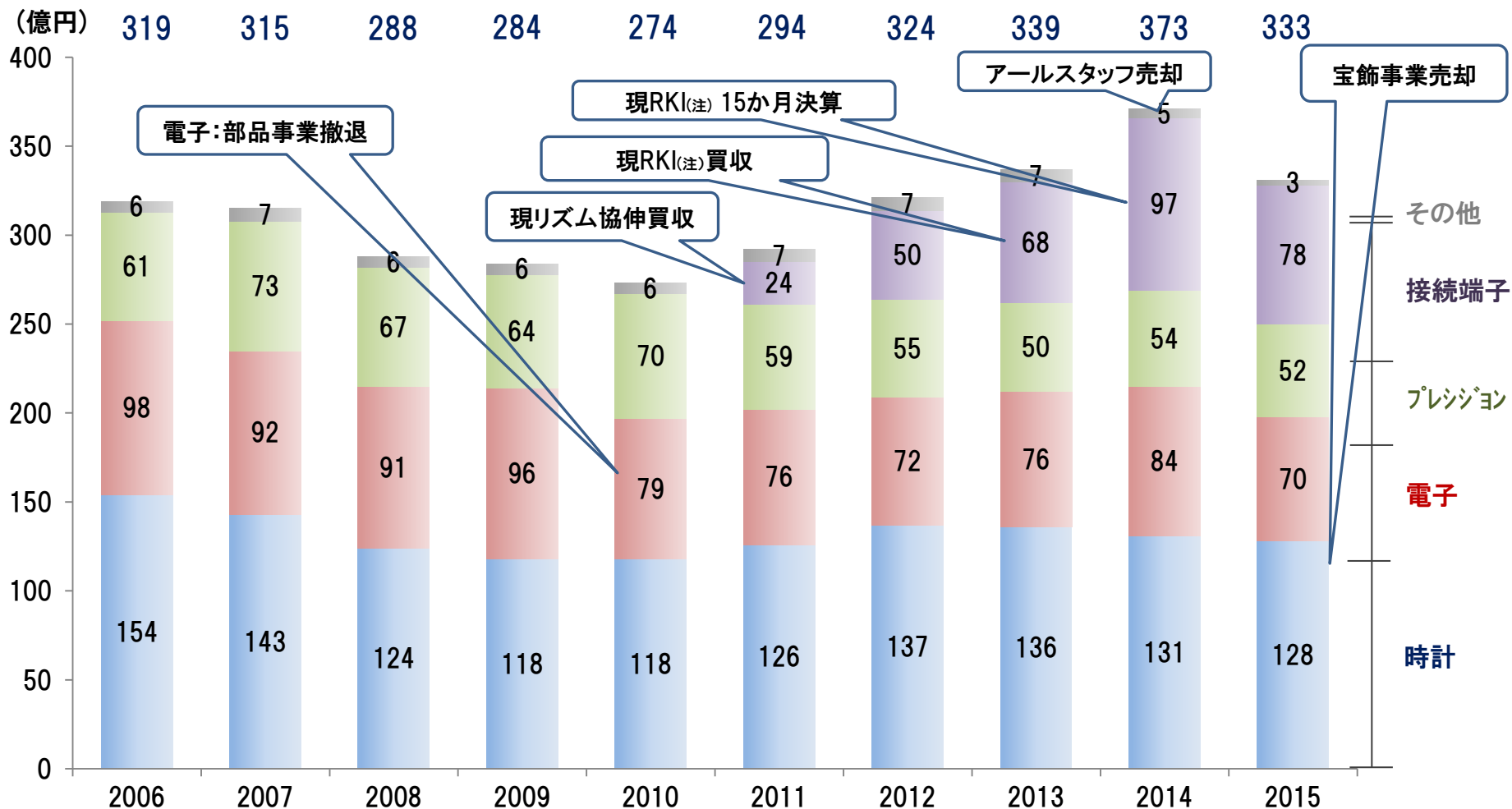
中期業績推移②

RHYTHM

ROE推移／当期純利益／自己資本・総資産



売上高推移



●M&Aで接続端子事業を取込み、業容は拡大基調にある。

注RKI:PT. RHYTHM KYOSHIN INDONESIAの略称

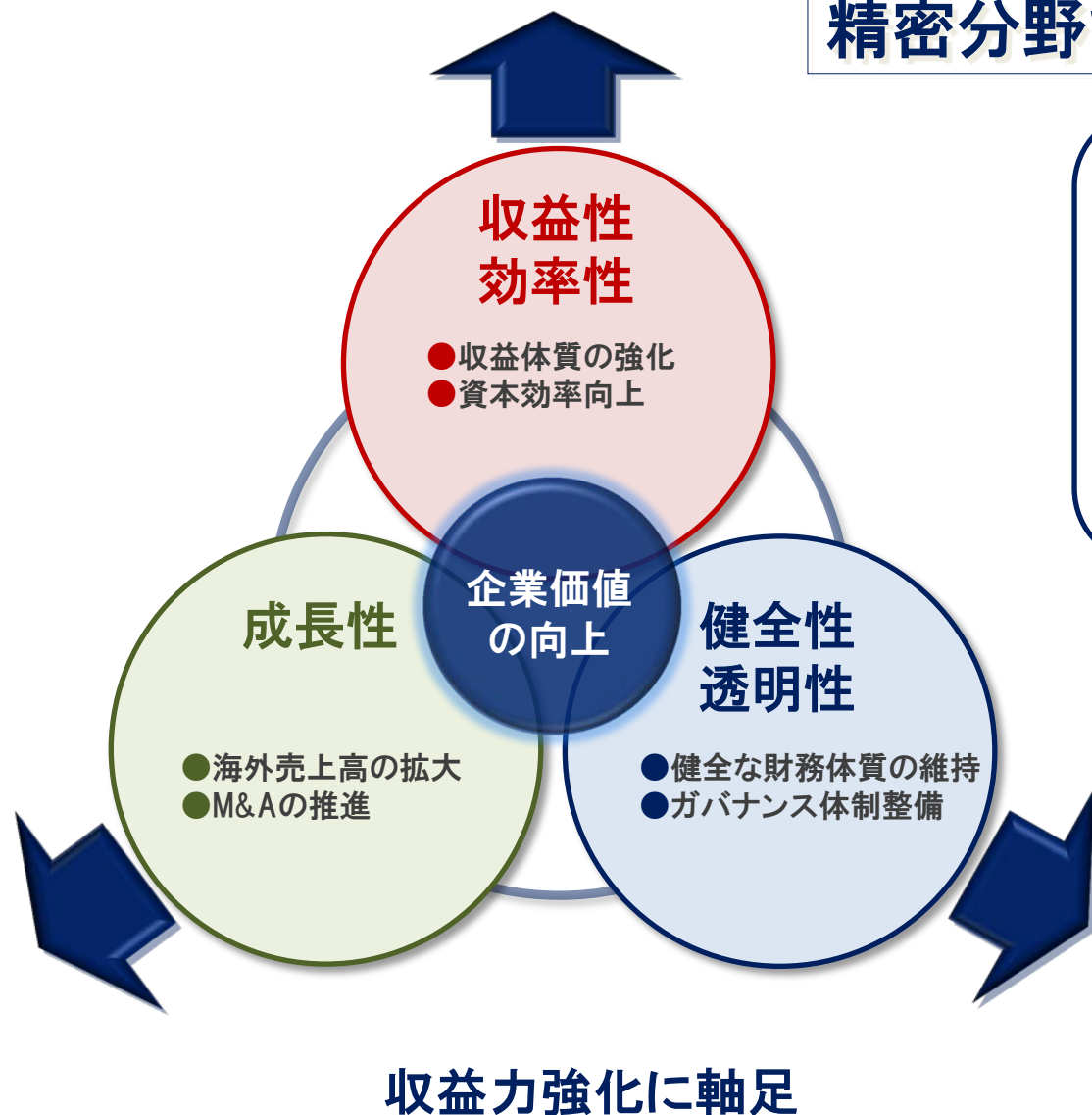
① 営業利益、営業利益率の改善

② 為替に変動されない体質作り

③ ROEの改善(資産の効率化)

中期経営計画
『精密分野でのカテゴリーNo.1の実現』
(2016年度-2018年度)

精密分野でのカテゴリーNo.1の実現



2018年度目標（計画為替レート@120円）

- 売上高営業利益率 5.0%(1.7%)
 - ROE 5.0%(3.1%)
 - 連結売上高 350億円(333億円)
 - 海外売上比率 40%(33%)
- ()内は2015年度実績

ステークホルダーとの関係

顧客との関係

- ・人々に喜ばれる製品
サービスの創造

株主との関係

- ・企業価値の向上

社会との関係

- ・社会への貢献

従業員との関係

- ・働きがいのある
職場づくり

1. 時計事業、および産業向け3事業(電子・プレシジョン・接続端子)の中で、強みの部分に経営資源を集中し、「ニッチであってもカテゴリーNo.1」を目指す。

＜カテゴリーNo.1をめざす分野＞

時計事業	クロック、小型ファン、防災行政ラジオ
電子事業	多用途小型カメラ、ゲージ等の表示機器
プレシジョン事業	精密金型、精密加工部品
接続端子事業	接続端子、小型精密プレス部品

2. 収益力強化～中期的な成長基盤作り

製品の高付加価値化(リズムブランド価値向上等)

海外売上高の拡大(為替変動リスク低減)-地産地消

構造改革(低採算製品の絞り込み)

M&A戦略の推進(事業競争力強化)

3. ROEの改善(資本・資産の効率化)

自己株式の取得、非事業資産の売却

中期経営計画の概要③

RHYTHM

収益力強化

製品の高付加価値化(リズムブランド価値向上等)

認知率

17%

33%

海外売上高の拡大(地産地消)

海外売上高比率

33%

40%

構造改革

M & A 戦略の推進

成果:売上高 78億円 営業利益 5億円(2015年度実績)

営業利益率

5.0%

ROEの改善(資産・資本の効率化)

ROE3.3%

ROE3.1%

ROE5.0%

自己株式取得

34百万株 69億円(過去5年間の累計実績)

非事業資産の売却

投資有価証券・不動産 28億円(過去5年間の累計実績)

営業利益率

1.7%

カテゴリー
No.1
の実現

2011年度から2015年度

2016年度から2018年度

2019年度以降

重点事業	時計事業	国内	収益改善	目標営業利益率 7%
		海外	売上・利益 拡大	
		生産	ベトナム工場 採算化	
	接続端子事業	販売	海外の受注拡大(日系、非日系とも)	目標営業利益率 8% (のれん償却前12%)
		生産	生産設備の内製化、自動化推進	

	2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2015年度比
売上高	33,338	-10.8%	33,400	0.2%	34,000	1.8%	35,000	2.9%	1,662
時計事業	12,853	-2.5%	13,000	1.1%	13,100	0.8%	13,400	2.3%	547
電子事業	7,065	-16.7%	6,600	-6.6%	6,700	1.5%	6,800	1.5%	-265
プレシジョン事業	5,249	-3.3%	5,400	2.9%	5,500	1.9%	5,600	1.8%	351
接続端子事業	7,839	-19.6%	8,000	2.1%	8,300	3.8%	8,700	4.8%	861
その他	330	-38.4%	400	21.2%	400	0.0%	500	25.0%	170
営業利益	553	1.7%	800	2.4%	1,250	3.7%	1,800	5.0%	1,247
時計事業	402	3.1%	500	3.8%	700	5.3%	900	6.7%	498
電子事業	-280	-4.0%	0	0.0%	100	1.5%	250	3.7%	530
プレシジョン事業	125	2.4%	200	3.7%	250	4.5%	300	5.4%	175
接続端子事業	501	6.4%	500	6.3%	600	7.2%	700	8.0%	199
その他	58	17.6%	50	12.5%	50	12.5%	100	20.0%	42
調整額	-254	-	-450	-	-450	-	-450	-	-196
経常利益	769	2.3%	1,000	3.0%	1,500	4.4%	2,000	5.7%	1,231
当期純利益	1,053	3.2%	700	2.1%	1,000	2.9%	1,400	4.0%	347
設備投資	910		1,270		800		1,000		90
減価償却	1,312		1,300		1,200		1,200		-112

(百万円)

※比率: 売上高; 前年比伸び率、営業利益; 売上高営業利益率

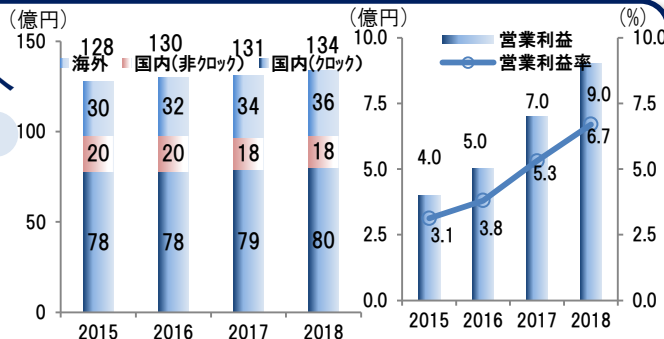
クロック中心から クロック及びクロック周辺商品へ

事業環境

- ・世界:人口増加、新興国成長によりクロックは拡大基調
- ・国内:人口減少、少子高齢化により市場は横ばい

強み

- ・企画～物流までの一貫体制がある
- ・国内クロックはシェアトップレベル
- ・海外は94カ国に販路がある
- ・蓄積した技術により新商材開発が可能



課題と対策

- ・ブランド認知度 → 国内外でのブランド拡大・浸透
- ・円安対応 → 収益力アップ(国内)
- ・海外売上拡大
- ・ベトナム工場の採算化

これまでの主な取り組み

- ・構造改革 <- 円安対応(90円→122円)
ラインナップ再編
組織のスリム化
宝飾事業からの撤退
- ・海外売上の拡大
- ・リズムブランド復活
- ・ベトナム新工場建設、稼働
(チャイナリスク対応)

1 国内の収益力アップ

- 新型による原価率の改善
- ラインナップの絞り込み
～30%削減
- 低採算仕入品の
ダウンサイジング



2 海外の売上拡大

- 米国市場の拡大
 - ・営業体制の強化
 - ・大手量販店の開拓
- 中国市場の拡大
 - ・大手インターネット顧客の拡大
 - ・リズムショップでの売上拡大



3 ベトナム工場の採算化

- 出来高の拡大
- 合理化、省力化

4 リズムブランドの拡大・浸透

●商品戦略

1. お客様・販売店ニーズへの対応

This is a clock
(見易さ・使い易さ・夜見えるetc.)



2. もの作り・品質への拘り中高級品強化

JAPAN MADE



3. ネットワーク技術による新しい価値提案

Bluetooth



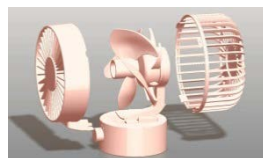
4. 外部コラボレーションによる魅力拡大

Desney STAR WARS 香蘭社



5. 省エネ・静音の追求(二重反転ファン)

Silky Wind



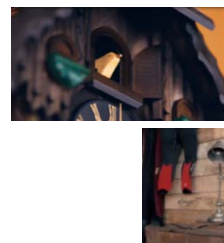
6. 安心・安全・安堵(防災行政ラジオ)

V-LOW



●販促広告

テレビCM



雑誌広告



浦和レッズ パートナーシップ



SNSの活用



販売イベント



世界会議

米国ディーラー会議

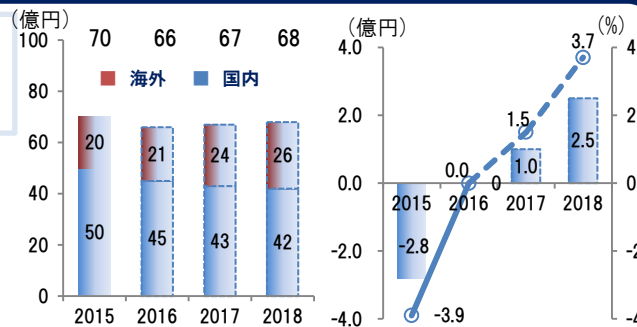
構造改革の推進と カメラ、表示機器拡大

事業環境

- ・映像（医療・産業機器・セキュリティ）
分野の市場：拡大基調
- ・車載分野の市場：拡大基調
- ・情報分野の市場：規制の強化-縮小傾向

強み

- ・長年培ってきた車載機器（自動車一時計、表示機器、カメラ）分野での技術力・開発力



課題と対策

- ・黒字化 → 構造改革の推進
- ・売上拡大 → カメラ、表示機器の拡大

これまでの主な取り組み

- ・構造改革
営業品目の絞り込み
表示機器、映像機器、ホールシステム
製品ラインナップの絞り込み
不採算製品リストラ
組織の簡素化、固定費の削減
- ・成長性の追求
プレジャーボート市場へ参入-表示機器
海外展開強化-中国・ベトナムでの生産
開始、海外販売の拡大
- ・リスク管理
為替変動対応-国内外の生産拠点活用

1 構造改革の推進

- ・製品ラインナップの絞り込み
- ・不採算製品リストラ
- ・固定費の削減

2 カメラ、表示機器の拡大

- ・映像（カメラ）
車載-自動車、建機
新分野-産業用、医療、セキュリティ
- ・表示機器（自動車、船舶向け）
MFD(Multi Function Display)
アナログ・デジタル時計
車載・船舶表示機器



3 海外の拡大 (表示機器-銘板・リング)

- ・銘板-自動車のメーターパネル
- ・リング-銘板の加飾
- ・センサー部品-セキュリティ機器用



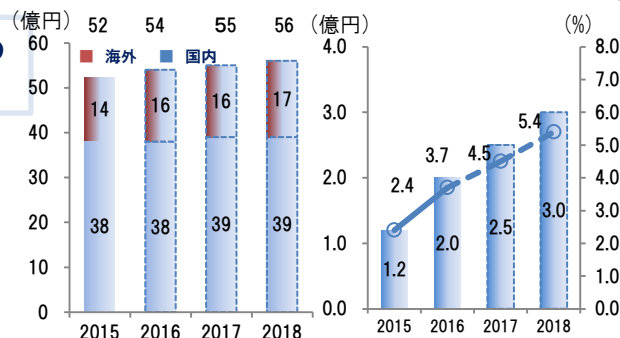
高難度技術の更なる向上による 新分野拡大と収益向上

事業環境

- ・光学業界は、急激な市場縮小に底打ち感が見られ、2020年五輪向け、多角化、活性化
- ・自動車の急速な自動制御化によって、センシングカメラ分野で大幅拡大
(=>更なる製品高度化ニーズの高まり)

強み

- ・高難度金型の製造力で信頼度高い。
(高度カメラホルダー・車載カメラ等)
- ・成形品の多種・多様・高品質(高精度)の部品製造。



課題と対策

- ・新分野拡大 → 車載カメラ部品の拡大
- ・既存分野の取引拡大 → 光学多角化品の拡大
- ・原価、品質強化 → 海外拠点の生産力強化 (Q・C・D・M)

これまでの主な取り組み

- ・事業構造改革（緊急策）
展開事業の見直し(選択と集中)
売上原価の低減
- ・『企業の強み再構築』
金型・成形における競争力強化
- ・成長戦略への転換・・・
車載カメラ部品参入
光学多角化部品の受注拡大

1 売上高拡大

- ・車載カメラ部品の受注拡大
- ・光学多角化品の受注拡大。

車載カメラのレンズホルダー



2 品質強化

- ・金型製造初期工程における品質強化
(初期技術検討・設計・トライ評価向上)
- ・成形(製造)工程改善

インサート挿入治具



3 原価低減

- ・成形工程の自動化による工程合理化
(省力機器導入による効率化)
- ・海外拠点の生産力強化
(成形・塗装・組立の各工程改善)

インライン ゲートカッタ



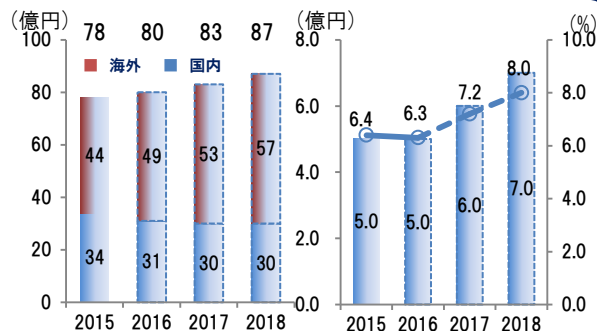
ネットワークを活かし国内外と業種の深耕開拓による事業拡大

事業環境

自動車は新興国が伸び悩み、二輪はアジア全体で落ち込み。家電では一部4Kテレビ等は好調だが回復が見られず。太陽光発電関連は制度変更の影響で大きく縮小。

強み

家電民生から車載向けと幅広い業種向け自社接続部品。
日本、ベトナム、シンガポール、タイ、インドネシア、中国、香港に広がる営業ネットワーク。端子生産設備の内製化と自動化推進。



課題と対策

- ・更なる収益性拡大 → 自動車関連向け、複合品・小型精密プレス品の拡大
- ・海外売上高の拡大 → アジアを中心に海外拡大
- ・収益性、品質強化 → 設備内製化と自動化率向上

これまでの主な取り組み

- ・収益力強化に向けた取り組み
M&Aにより、現リズム協伸、現RT. RYTHM KYOSHIN INDONESIA買収
- ・成長性の追求
海外展開強化-ベトナムにRHYTHM KYOSHIN HANOI設立、中国での生産開始、タイ駐在員事務所設立、香港に駐在員配置
中国でのVTCコイル生産
ヨーロッパでの代理店設置

1

自動車関連向けの、複合品・小型精密プレス部品の拡大

- ・グループで、自動車関連の共通客先の受注拡大（複合品の拡大）（トヨタ系、日産系、ホンダ系）
- ・グループシナジー効果の追求（コイルユニットの拡大）



2

アジアを中心に海外拡大（日系国外、非日系の受注拡大）

- ・グループのネットワークを強化し受注拡大（日系国外、非日系の比率を高める）（日本、ベトナム、シンガポール、中国、インドネシア、タイ、マレーシア、アメリカ、欧州）



3

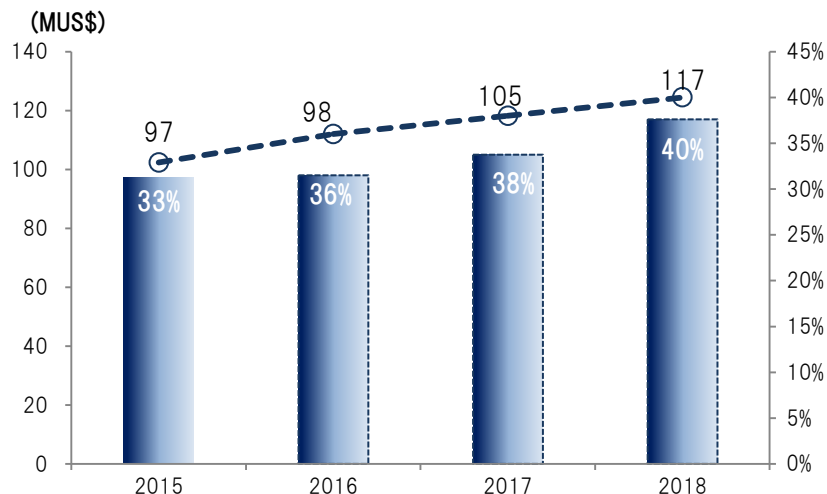
設備内製化と自動化率向上

- ・グループの営業力、技術力、品質力、管理力の強化と共有（定期交流、グローバル会議、支援）
- ・自動化率を上げる（日本、ベトナム、インドネシア、中国）



（注）接続端子事業の営業利益・利益率は、のれん償却後で表しています。

海外売上高と売上高比率



重点市場と方策

アジア	時計	ブランド戦略に基づくクロック・ウォッチの拡販 ベトナム工場一早期の量産体制構築と採算化
	産業向3事業	シンガポール・バンコクの販売拠点、ベトナム・インドネシアの生産拠点を活用したASEAN域内での拡大
中国	時計	ブランド戦略に基づくクロック・ウォッチの拡販
	産業向3事業	日系・非日系企業のOEMの深耕開拓
北米	時計	ブランド戦略に基づくクロックの拡販
	接続端子	日系、非日系の受注拡大

海外関係会社と事業のマトリクス

会社名		時計	電子	プレシジョン	接続端子
① RHYWACO(H. K.) CO. LTD.	時計販売	●			
② RHYTHM U. S. A. LTD.	時計販売	●			
③ RHYTHM INDUSTRIAL(H. K.) LTD.	中国工場製造支援会社	●	●	●	
④ KIA HONGKONG REPRESENTATIVE OFFICE	駐在員事務所				●
⑤ RHYTHM INDUSTRIAL(D. G.) LTD.	製造会社				●
⑥ RHYTHM PRECISION VIETNAM. CO., LTD.	製造会社	●	●	●	
⑦ KYOSHIN VIETNAM CO., LTD.	製造会社	●	●	●	●
⑧ RHYTHM KYOSHIN HANOI CO., LTD.	製造会社				●
⑨ KYOSHIN INDUSTRIAL ASIA PTE LTD.	販売会社				●
⑩ KIA BANGKOK REPRESENTATIVE OFFICE	駐在員事務所				●
⑪ PT. RHYTHM KYOSHIN INDONESIA	製造会社				●

時計事業の要であるクロックはグローバルに販売

クロック:94か国で販売



＜目指す企業グループ像＞

従業員それぞれが、仕事に誇りとやりがいを持てる

世界で通用する
人材の育成のため
の仕組み作り

ダイバーシティを
推進し、多様な
人材の登用

女性が活躍する
雇用環境、人事
制度の整備

地域貢献



時計事業では、毎年、海外で「世界代理店会議」を開催し、その都市にある児童福祉施設にクロックを寄贈しています。

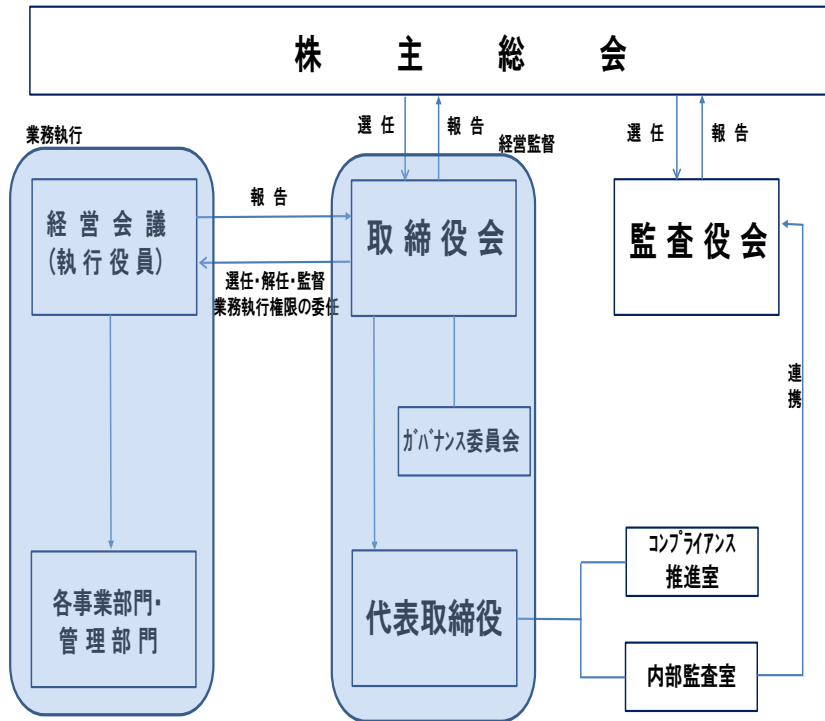
当社は、毎年、6月10日時の記念日、埼玉県内の児童施設にクロックを寄贈しています。



埼玉県をルーツとする弊社は、地元浦和レッズと、オフィシャルサポーター契約を2015年に締結し、サポート活動を展開しています。

こどもたちに時計に興味を持ってもらうため、毎年、時計協会主催のイベントに協力しております。





- ・意思決定の迅速化
=> **執行役員制度の導入**
- ・経営の透明性の確保
=> 独立社外役員を中心とする
ガバナンス委員会の設置
- ・執行役員をメンバーとする経営会議による迅速な意思決定
- ・コーポレートガバナンス・コードへの適切な対応

株主をはじめステークホルダーに対する適切な情報開示

企業価値の向上

コーポレートガバナンス・コードへの対応	
提出時期	実施率
2015年11月	84%
2016年6月	95%以上
2019年3月	100%

2015年度決算の概要

2016年度業績予想

2015年度決算の概要 ①概要

RHYTHM

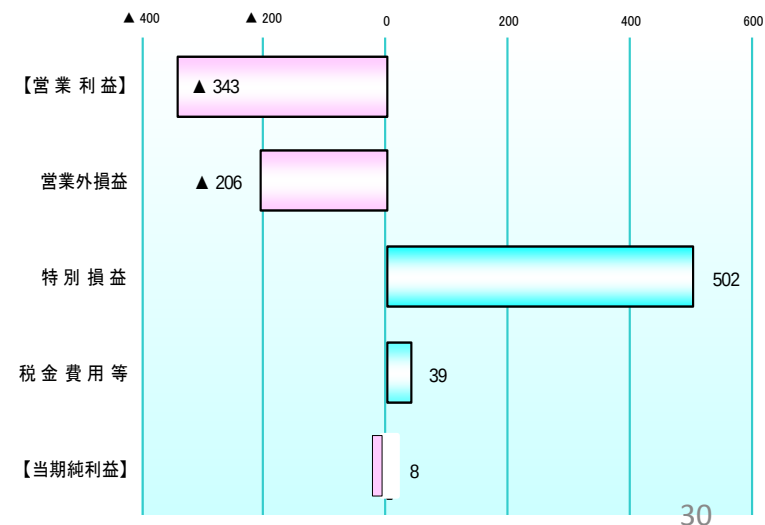
(百万円)

	2015年3月期	2016年3月期	比 較
売 上 高	37,392	33,338	▲4,054 ▲10.8
営業利益 営業利益率	897 2.4%	553 1.7%	▲343 ▲38.3%
経常利益 経常利益率	1,319 3.5%	769 2.3%	▲549 ▲41.7%
親会社株主帰属 当期純利益 当期純利益率	1,061 2.8%	1,053 3.2%	▲8 ▲0.8%
1株あたり 当期純利益(円)	9.21	10.42	+1.20
ROE (自己資本当期利益率)	3.0%	3.1%	+0.1%
1株あたり配当(円)	3.00	3.00	±0
為替レートUS\$=¥) []は期末日レート	108 [120]	121 [113]	+13 [▲7]

主な利益増減要因

		当期計上額	前期比利益 インパ外
営業外損益	受取利息	20百万円	▲13百万円
	受取配当金	168百万円	+13百万円
	支払利息	40百万円	▲20百万円
	為替差損	76百万円	▲70百万円
	社債発行費用	60百万円	▲60百万円
特別損益	固定資産売却益	47百万円	+33百万円
	投資有価証券 売却益	786百万円	+500百万円
法人税等	税金費用	521百万円	+39百万円

当期純利益増減内訳



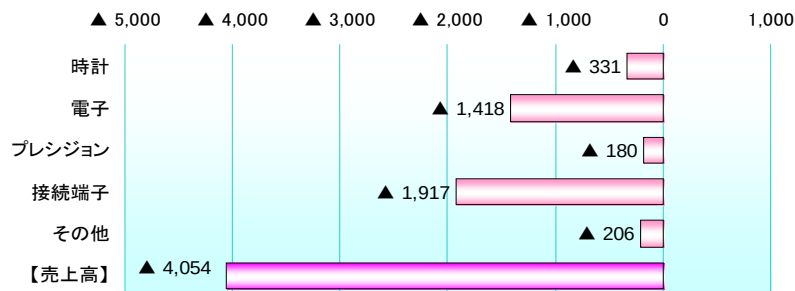
2015年度決算の概要 ②セグメント別

RHYTHM

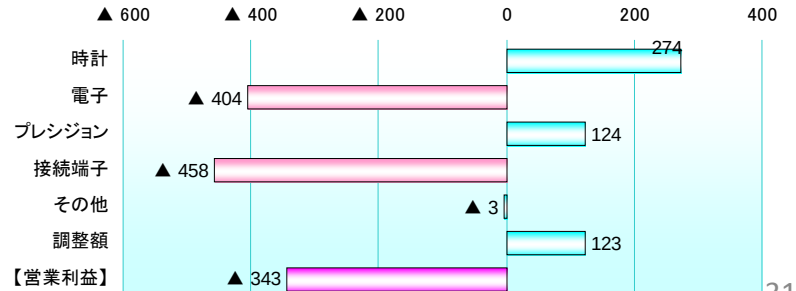
(百万円)

		15年3月期	構成比利益率	16年3月期	構成比利益率	比較	
						増減	増減率
売上高	時計	13,184	35.3%	12,853	38.6%	▲331	▲2.5%
	電子	8,484	22.7%	7,065	21.2%	▲1,418	▲16.7%
	プレジジョン	5,430	14.5%	5,249	15.7%	▲180	▲3.3%
	接続端子	9,756	26.1%	7,839	23.5%	▲1,917	▲19.6%
	その他	536	1.4%	330	1.0%	▲206	▲38.5%
	合計	37,392	100.0%	33,338	100.0%	▲4,054	▲10.8%
営業利益	時計	128	1.0%	402	3.1%	+274	+214.7%
	電子	124	1.5%	▲280	▲4.0%	▲404	-
	プレジジョン	0	0.0%	125	2.4%	+124	+12551.5%
	接続端子	960	9.8%	501	6.4%	▲458	▲47.8%
	その他	61	11.5%	58	17.7%	▲3	▲4.9%
	調整額	▲337	-	▲254	-	+123	-
	合計	897	2.4%	553	1.7%	▲343	▲38.3%

売上高増減内訳

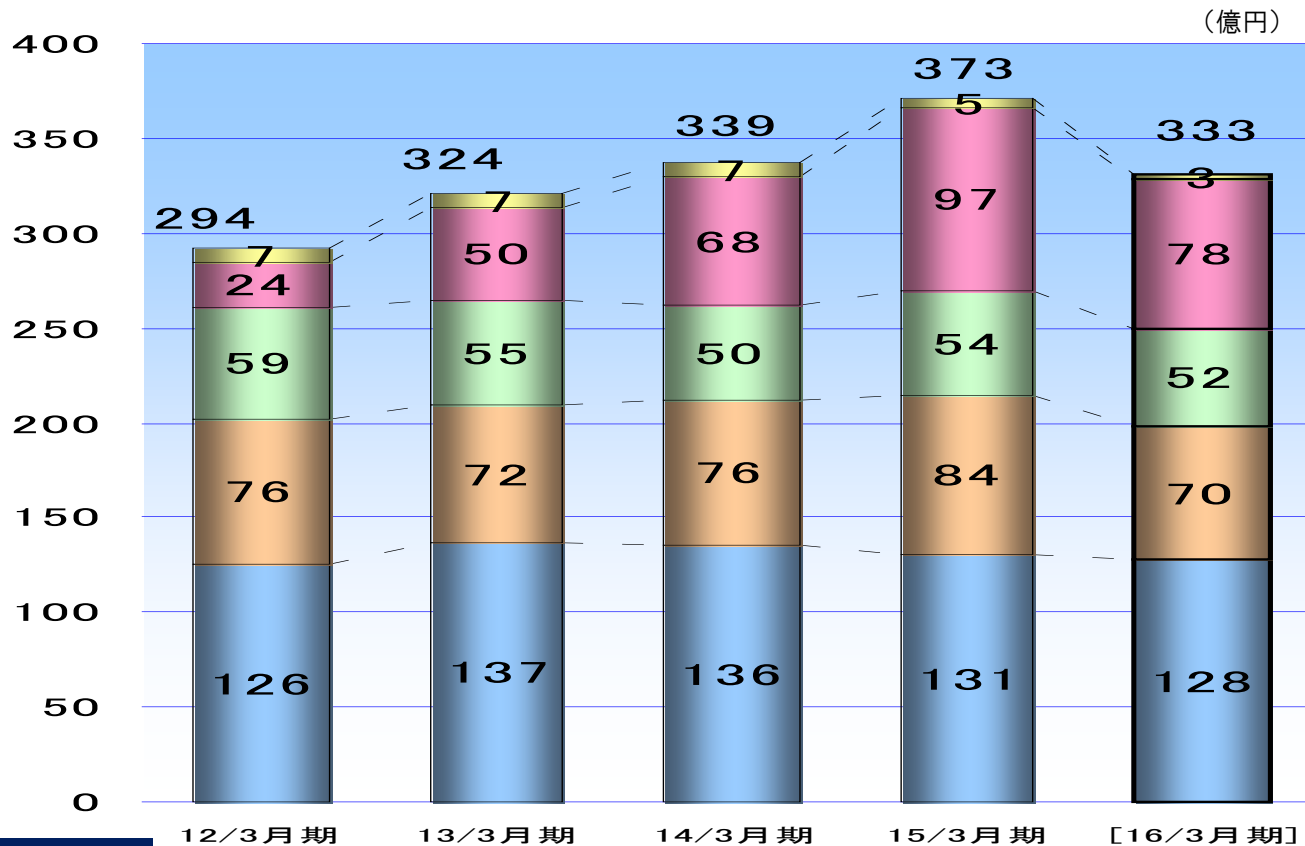


営業利益増減内訳



2015年度決算の概要 ③売上推移

RHYTHM



売上構成比推移

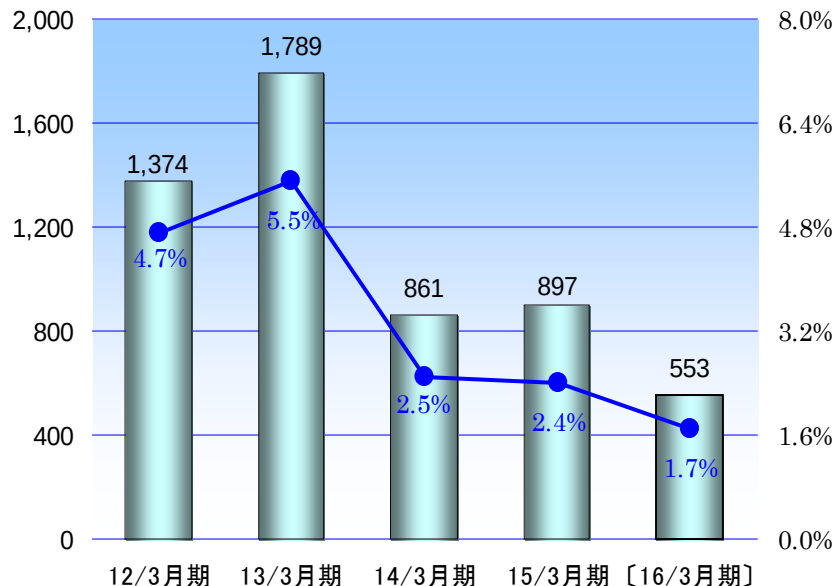
	12/3月期	13/3月期	14/3月期	15/3月期	16/3月期
時計	43%	43%	40%	35%	39%
電子	26%	22%	23%	23%	21%
プレジジョン	20%	17%	15%	15%	16%
接続端子	8%	16%	20%	26%	23%
その他	3%	2%	2%	1%	1%
合 計	100%	100%	100%	100%	100%

2015年度決算の概要 ④営業利益推移

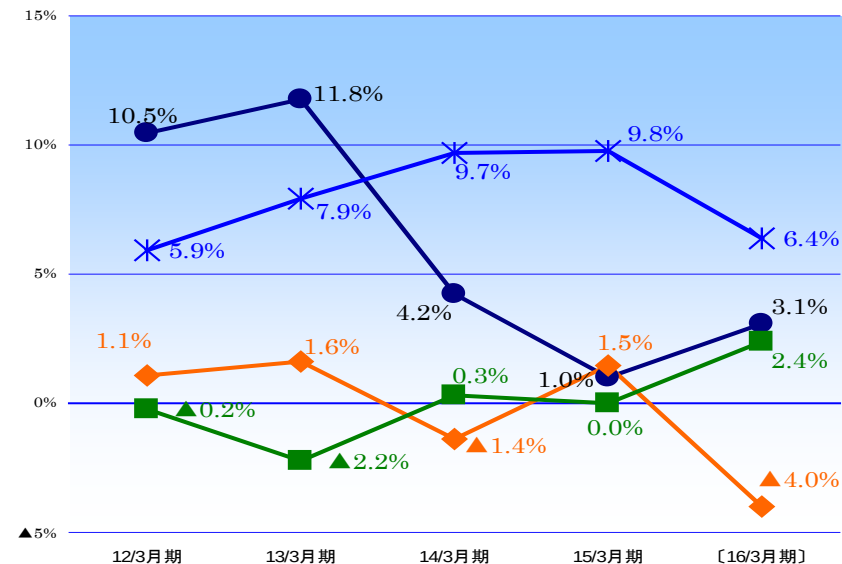
RHYTHM

営業利益・営業利益率（全 体）

(百万円)



営業利益率（セグメント別）

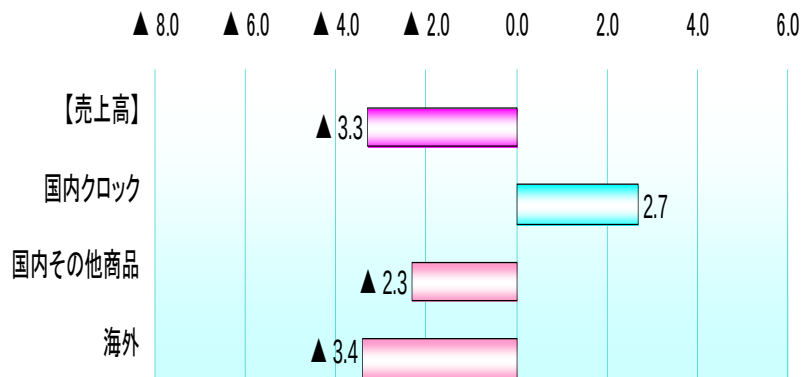


	12/3月期	13/3月期	14/3月期	15/3月期	16/3月期	前期比
時 計	1,336	1,628	569	128	402	+274
電 子	84	114	▲113	124	▲280	▲404
プレジジョン	▲14	▲124	17	0	125	+124
接続端子	142	397	661	960	501	▲458
その他	52	75	60	61	58	▲3
調整額	▲228	▲301	▲335	▲377	▲254	+123
合 計	1,374	1,789	861	897	553	▲343

2015年度決算の概要 ⑤決算要因分析

RHYTHM

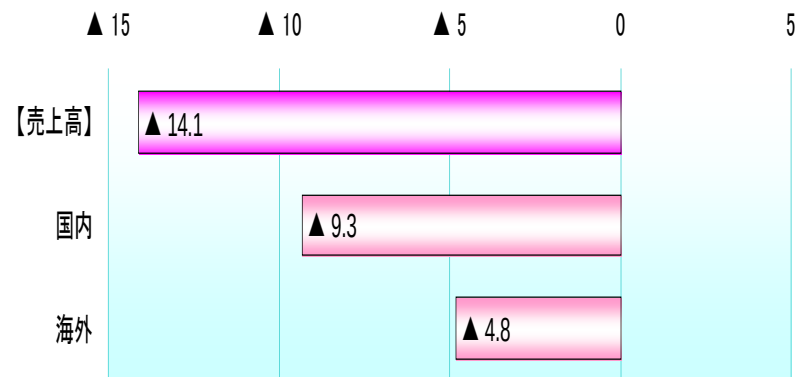
時計事業



国内： クロック好調

海外： 中国経済減速、現地通貨安の影響あり

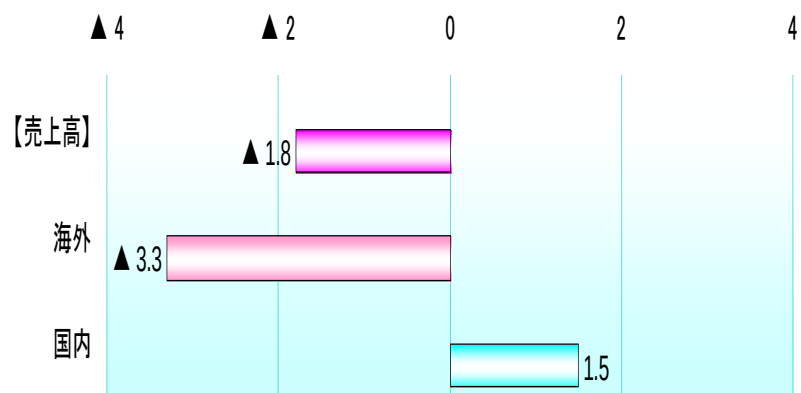
電子事業



国内外とも：

車載・映像機器、情報機器で受注減少

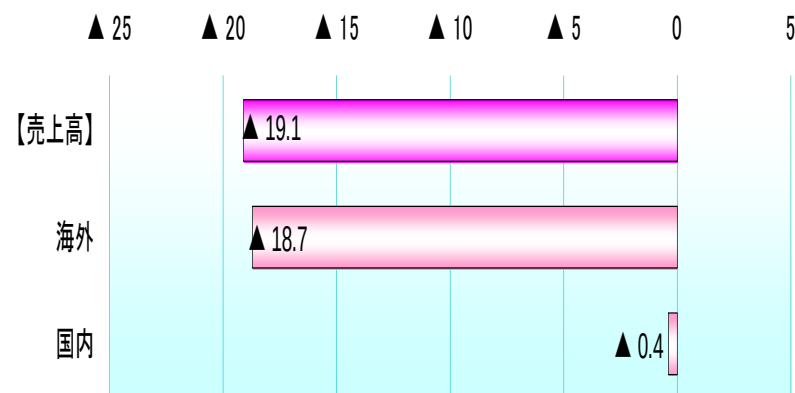
プレシジョン事業



国内： 新領域の開拓が奏功

海外： 受注減少で減収

接続端子事業



国内： 好調分野と低調分野が交錯し横ばい

海外： 需要減少と前期決算期変更の影響

貸借対照表

(億円)

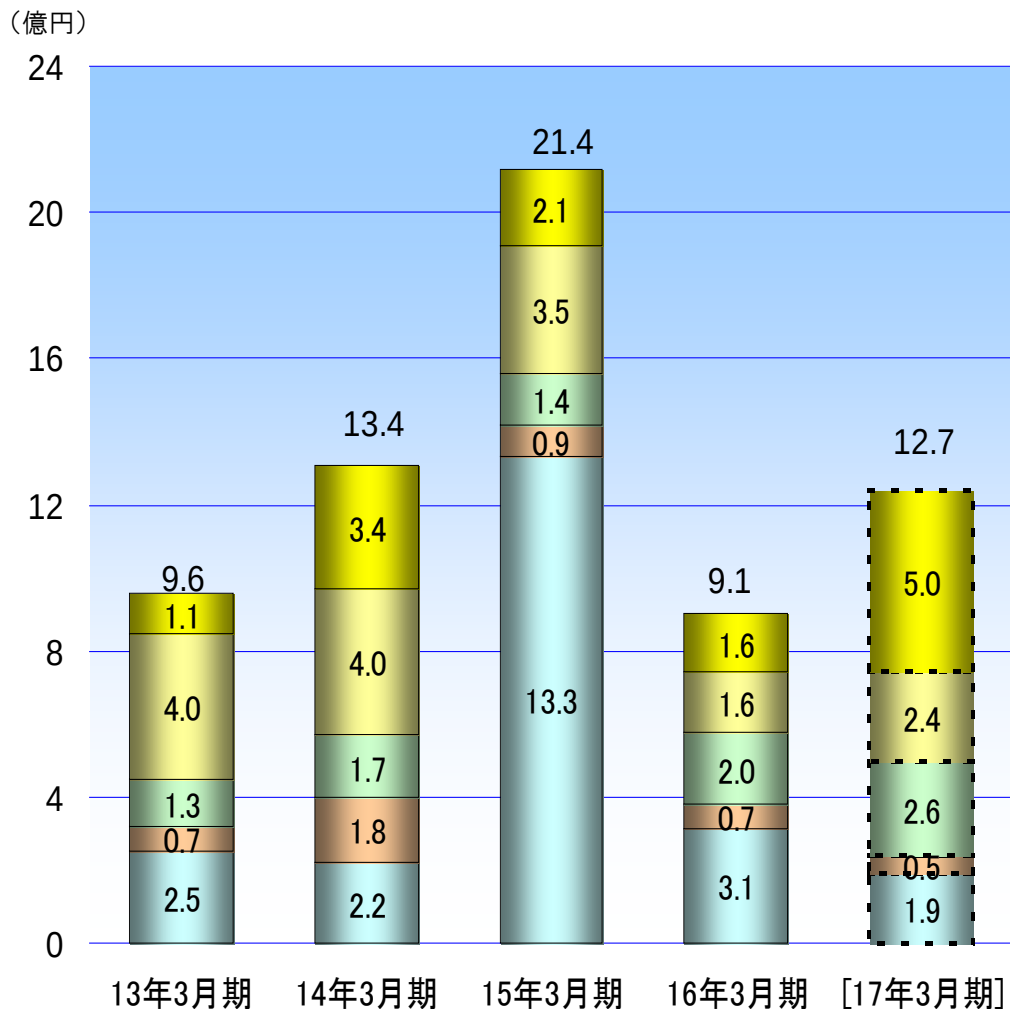
	2015年度	2016年度	増 減		2015年度	2016年度	増 減
流動資産	256	280	+23	流動負債	72	56	-16
固定資産	215	171	-44	固定負債	34	74	+39
有形固定資産	87	82	-5	負債合計	107	130	+23
投資有価証券等	90	58	-32	資本金	123	123	±0
その他	37	30	-7	剰余金,その他	252	232	-19
				自己株式	-10	-34	-23
				純資産合計	365	321	-43
資産合計	472	451	-20	負債・資本合計	472	451	-20
注: 億円未満は切り捨てて表示しております。				自己資本比率	77.3	71.1	-6.2
				1株あたり純資産	330.17	334.00	+3.83

2015年度決算の概要 ⑥設備投資・減価償却費

RHYTHM

設備投資/減価償却

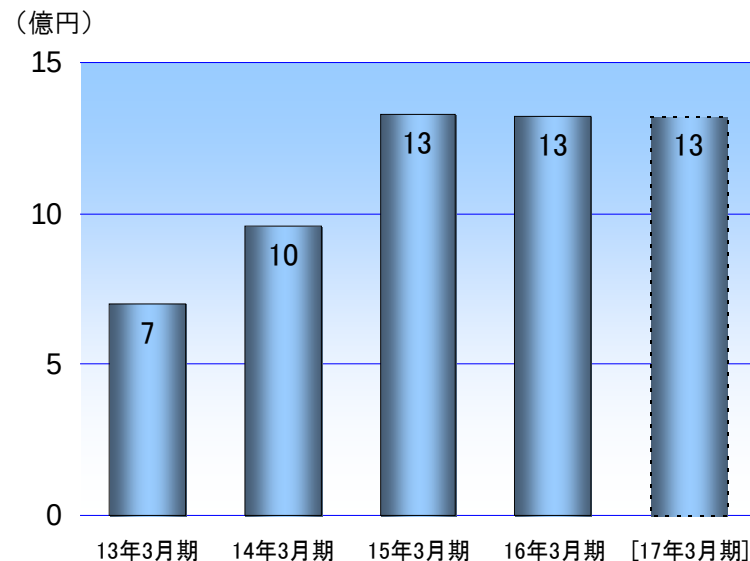
設備投資



主な設備投資実績

(億円)	
[時 計]	3.1 新工場設備・金型・機械装置
[電 子]	0.7 検査装置
[プレシジョン]	2.0 機械装置(成形機等)
[接 続 端 子]	1.6 金型、機械装置
[そ の 他]	1.6 倉庫新設
合 計	9.1

減価償却費



2015年度決算の概要 ⑦キャッシュフロー

RHYTHM

【営業活動によるキャッシュフロー】

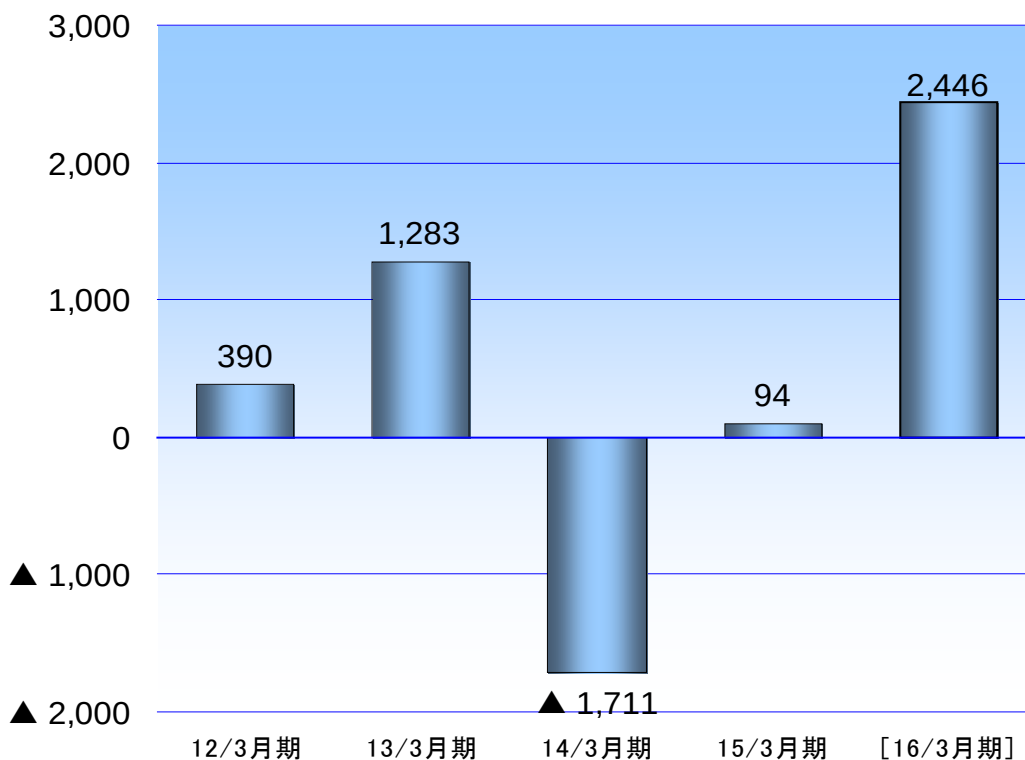
・税金等調整前当期純利益	1,574
・減価償却費	1,323
・のれん償却額	327
・退職給付に係る負債	52
・売上債権の減少	919
・棚卸資産の減少	151
・仕入債務の減少	▲1,378
・法人税等の支払額	▲638

【投資活動によるキャッシュフロー】

・固定資産の取得、売却による収支	▲799
・投資有価証券売却による収入	1,569

【財務活動によるキャッシュフロー】

・借入金の増減	▲217
・自己株式の取得、売却による収支	▲2,394
・社債発行による収入	5,000
・配当金の支払	▲331



営業活動によるキャッシュフロー	2,601	2,063	1,250	1,834	1,224
投資活動によるキャッシュフロー	▲2,221	▲779	▲2,962	▲1,740	1,222
フリーキャッシュフロー	390	1,283	▲1,711	94	2,446
財務活動によるキャッシュフロー	▲255	▲2,834	625	▲1,776	2,056
現金及び同等物の期末残高	10,328	9,105	8,427	7,299	11,569

2016年度業績予想 ①全体

RHYTHM

2017年3月期 業績予想 (2016年4月1日～2017年3月31日)

(百万円)

	2016年3月期 実績		2017年3月期 予想		通期比較	
	第2四半期	通 期	第2四半期	通 期	増 減	伸び率
売上高	16,694	33,338	16,200	33,400	+62	+0.2%
営業利益	192	553	240	800	+247	+44.7%
営業利益率	1.2%	1.7%	1.5%	2.4%		
経常利益	319	769	410	1,000	+231	+30.0%
経常利益率	1.9%	2.4%	2.5%	3.0%		
親会社に帰属する 当期純利益	153	1,053	280	700	▲353	▲33.5%
当期純利益率	0.9%	3.2%	1.7%	2.1%		
1株当たり当期純利益 (円)	1.46	10.42	2.91	7.28	▲3.50	▲33.6%
1株当たり配当金 (円)	—	3.00	—	3.00	—	—
為替レート (US\$=¥) []は、期末日レート	122 [120]	121 [113]	120 [120]	120 [120]	▲1 [+7]	1円の円安による 営業利益への影響 約▲20百万円

2016年度業績予想 ②セグメント別

RHYTHM

(百万円)

		2016年3月期 実績			2017年3月期 予想			前期比(通期)	
		第2四半期	通期		第2四半期	通期		増減	伸び率
売上高	時計	6,133	12,853	38.6%	6,200	13,000	38.9%	147	+1.1%
	電子	3,766	7,065	21.2%	3,200	6,600	19.8%	▲465	▲6.6%
	プレジジョン	2,619	5,249	15.7%	2,700	5,400	16.2%	151	+2.9%
	接続端子	4,007	7,839	23.5%	3,900	8,000	24.0%	161	+2.1%
	その他	166	330	1.0%	180	400	1.1%	70	+21.2%
	合計	16,694	33,338	100.0%	16,180	33,400	100.0%	62	+0.2%
営業利益	時計	144	402	3.1%	160	500	3.8%	98	24.4%
	電子	▲147	▲280	▲4.0%	▲40	0	0.0%	280	-
	プレジジョン	56	125	2.4%	90	200	3.7%	75	+60.0%
	接続端子	226	501	6.4%	220	500	6.3%	▲1	▲0.2%
	その他	33	58	17.6%	20	50	12.5%	▲8	▲13.8%
	調整額	▲120	▲254	-	▲230	▲450	-	▲196	-
	合計	192	553	1.7%	220	800	2.4%	247	+44.7%

＊配当基本方針：

安定配当を基本に、配当性向概ね30%

＊自己株式取得：継続的かつ機動的に実施

[参考]

	2013年3月 期(実績)	2014年3月 期(実績)	2015年3月 期(実績)	2016年3月 期(実績)	2017年3月 期(予想)
親会社に属する 当期純利益(百万円)	1,442	851	1,061	1,053	700
1株当り配当(円)	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
配当総額(百万円)	346	347	332	288	260
配当性向(%)	24.0	40.8	31.3	27.4	37.1
自己株式取得額(百万円)	1,307	0	825	2,390	※ 1,500
株主還元総額(百万円)	1,653	347	1,157	2,678	1,760
株主還元性向(%)	114.6	40.8	109.0	254.3	251.4

※:2016年5月23日開示分

本資料は当社をご理解いただくために作成されたものです。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

広報IR担当窓口

リズム時計工業株式会社

人事総務部 総務課 貞末(サダスエ)

電話 048-643-7245

メール hrs-sadasue@rhythm.co.jp